

【研究情報の公開について（オプトアウト）】

通常、臨床研究を実施する際に文書、もしくは口頭で説明して対象者の同意を取得します。それをインフォームド・コンセントと言います。臨床研究のうち、対象者への侵襲や介入がなく、診療データ等の情報や余った検体のみを用いる研究については、適切な個人情報保護を行えば対象者への不利益はないと考えられるため、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる患者さんから直接同意を受けない場合があります。この場合は、研究の目的を含め研究内容の詳細を公開し、患者さんが拒否できる機会を保障することが必要です。このような手法を「オプトアウト」といいます。

当院でオプトアウトを用いた研究は以下の通りです。研究のためにご自身のデータや検体を使用されることを望まない方は、各研究の担当者までお知らせください。

なお、研究への協力を希望されない場合は、いつでも拒否ができ、そのために診療上で不利益を被ることはありません。

部門等	研究名	表示
東京ミッドタウンクリニック	画像定量化技術を用いた健診画像解析の共同研究	公開文書
東京ミッドタウンクリニック	Medical Office Survey on Patient Safety Culture (MOSPSC)を使用したプライマリーケア医療機関における安全文化尺度の開発	公開文書
東京ミッドタウンクリニック /日本橋室町三井タワー ミッドタウンクリニック	健康診断における甲状腺機能異常診断サポートシステム適用性の検討	公開文書
東北大学/東京ミッドタウンクリニック/山中湖クリニック	PET 検診受診者を対象とした、疾患発症の臨床経過と発症要因の共同研究 -診断・報告書作成支援システムの構築-	公開文書